聖徳大学・聖徳大学短期大学部　ビジネス・フィールド・リンケージ®　　創刊号（2025年07月18日発行）

「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を伝える

BFLゼミ通信

00 『BFLゼミ通信』の創刊にあたって（BFL特命教授 浅岡 伴夫）

本年4月に**「BFL近未来創造ゼミ」**がスタートし、**「聖徳BFL副専攻プログラム」の価値を体現する活動**をゼミ生たちが展開してきました。この度、その成果を踏まえて**「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を学内外に伝える『BFLゼミ通信』を創刊**する運びとなりました。今号では、BFL科目とBFLオープンセミナーの受講レポートを通じ、学生目線でBFLの魅力をお伝えします。

01 聖徳の「BFL副専攻プログラム」とは何か？

「聖徳BFL副専攻プログラム」とは、各学科の主専攻に加えて、ビジネス社会との連携に関わる科目群を「副専攻」として体系的に学ぶためのもので、**MBA（経営学修士課程）レベルの高度な内容を大学生が理解・吸収できるよう噛み砕いて教える他に類をみない教育プログラム**です。

●「BFL副専攻科目」の特長を受講者がレポート

このコーナーでは、**BFL副専攻科目を実際に受けている学生に受講したことで得られたメリット（価値）を具体的にレポート**してもらいます。

コミュニケーションの実践スキルを現役アナウンサーから学ぶ！

ビジネス・コミュニケーション・スキル



人間栄養学部人間栄養学科3年　藤井　永奈です。現在受講中の**『ビジネス・コミュニケーション・スキル』（河田京子 先生）についてレポート**します。

私はコミュニケーション全般が苦手で何とか克服したいと思い、この授業を受講しました。

この授業の良さは何といってもコミュニケーションのプロから知識やスキルを学べる点にあります。

この授業では、何となくわかっているつもりでも実は身に付いていない基礎的な知識やスキルからしっかり教えてくださいます。

毎回、授業の最初にアイスブレイク【初めて会う人同士や会議の場での緊張を和らげ、コミュニケーションを円滑にする手法】の時間が設けられていて、自分の近くに座っている数人とグループを組んで会話します。普段あまり関わらない人とコミュニケートするので新鮮な気持ちで話し合うことができます。

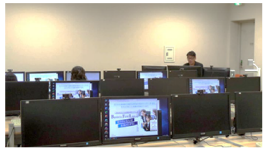
【妄想自己紹介】で先生から出された【もし魔法が使えたら何をしたい？】といったお題に対してほかのメンバーから興味深い回答を聞くことができて、コミュニケーションの楽しさを知ることができました。この時

間があることでリラックスして授業を受けることができ、内容の理解度が確実に高まります。また、河田先生の重要な授業トピックの1つである【ビジネスマナーとセルフプロデュース】では、ビジネスのさまざまなシーンで活躍される中で体得した身だしなみや姿勢・動作・表情などの基本を実体験でき、毎回新たな発見や驚きがあります。

このほか、ビジネスの現場で役立つ知識やスキルを学ぶこともでき、自己成長にも繋がっているのではないかと思います。実際、この通信を発行しているBFL近未来創造ゼミの中でも、周りの仲間と楽しくコミュニケーションをとる機会が増えてきて、そこにも、自分の成長を感じています。

最近よく聞く、ノーコード／ローコードプログラミングが自分でもできる！

ビジネス・データサイエンスⅢ



文学部文学科2年の中山由姫乃です。現在受講中の**『ビジネス・データサイエンスⅢ』(熊谷基維 先生)**についてレポートします。

この授業では、ChatGPTを活用したプログラミングの方法を学びました。特筆すべきは、プログラムコードをまったく書かずに(あるいはほとんど書かずに)アプリが作れるようになることです。

私は典型的な文系タイプで、プログラミングとは無縁の生活を送っていました。

しかし、AI技術の進歩が著しく、高校ではプログラミングの授業が必修化されるなど、避けては通れない時代になったことを実感し、この授業を履修することに決めました。

授業では、最初にChatGPTを活用しておみくじアプリを作成しました。「習うよりも慣れろ」を体現したような授業で、先生の指示どおり作業を進めていくと、初心者の私でも簡単なおみくじアプリを完成させることができました。初めて自分で作成したプログラムが動いたときの感動は大きく、両親や友人に自慢して回るほどでした。

おみくじアプリを作成した後は、基本的なコードを学び始めました。1つずつにていねいな説明があり、説明の後に実習に取り組みます。学んだ内容をすぐに実践することで、コードの意味や使い方が自然と身につき、ChatGPTが生成したコードも理解できるようになりました。

この授業がきっかけで、プログラミングについてもっと深く学びたいという意欲が湧いてきました。たった15回の授業を受けるだけでプログラミングの基礎を学ぶことができ、「プログラミングを学んだ経験」は今後大きく役立つと思います。実際に私はこの授業で学んだことを生かし、暗記用の単語帳アプリを作成して学習に役立てています。

02 「BFLオープンセミナー」の目的と開催概要のご案内

BFLオープンラボでは、BFL副専攻プログラムの効果を増幅させることを目的として、**年8～9回程度「BFLオープンセミナー」を開催**しており、**地域社会との連携を図るために社会人の皆さまにも無料で公開**しています。今回は、6月に行われたセミナーについて、実際に受講したゼミ生にレポートしてもらいます。

また、今年度の8月以降の開催概要は、次ページ表のとおりです。

都内で活躍する弁護士が実務に役立つ法律知識とリスク予防の要点を解説！

『企業や個人事業主に降りかかる法的なリスクと対処方法を学ぼう』



心理・福祉学部心理学科2年の遠藤陽菜です。6月14日（土）の4時限に聖徳大学1号館の1055教室で開催された**BFLオープンセミナー『企業や個人事業主に降りかかる法的なリスクと対処方法を学ぼう』**の中身をレポートします。

今回の講師は「品川区役所 法律相談員」「東京地方裁判所民事調停委員」でもある塚田耕太郎弁護士で、企業や団体の実務に役立つ法律知識とリスク予防のポイントを解説してくださいました。

企業、教育機関、自治体、個人事業主はさまざまな法的な問題に直面する恐れがあるため、学生のうちに特徴的な法的リスクと適切な対処方法を学んでおく必要があることがわかりました。

特に印象深かったのは、どんなビジネス領域にも法的リスクが潜んでいるという点です。たとえば、契約書に記載漏れや不明確な点があると大きなトラブルに発展する恐れがあると知り、その重要性を再認識しました。また、SNSが普及した現代においては、個人情報の取り扱い方一つで企業や個人の信頼が大きく損なわれかねないことを、私たち学生も意識しておく必要があると思いました。

塚田先生は、ご経歴や外見からクールな方なのかと思いましたが、「弁護士の仕事では相手（顧客）が何に困っていてどうしてほしいかを感情まで含めてしっかりヒヤリングすることが大事」とおっしゃったのを聞いて、イメージが大きく変わりました。「法律的なことで困ったら自分もこういう方に相談したい」と感じました。

セミナーの中核である「法的リスクと対処法」の説明では、法的リスクのタイプ別に具体的な事例を交えながら分かりやすく噛み砕いて解説してくださったため、法律の知識がない私でも十分理解できました。示していただいた対処法についても「なるほど」と納得できるものばかりだったので、実社会に出て仕事をするときに役立てようと強く思いました。

今回のセミナーを通して、ビジネス社会に潜在する法的リスクを理解し適切に対処することの重要性を認識し、法律やコンプライアンスをさらに学んでいく必要性を実感しました。

【2025年度】8月以降のBFLオープンセミナーの予定

開催日時	セミナータイトル	ゲスト講師	講師プロフィール
8月2日（土4限）	DXの推進に不可欠なWebテクノロジーの概要と活用法を学ぼう	川口泰司 先生	株式会社ネットラーニングホールディングス取締役副社長経営委員
9月27日（土4限）	ChatGPTを使って誰でもできるWEBサイト・アプリ作成を学ぼう	熊谷基継 先生	TechKidzACADEMY代表、プログラミング教育コンテンツの開発者
10月18日（土4限）	生成AIの基礎知識、活用法、注意点を知ろう	浅岡伴夫 先生	先端技術アナリスト、DX・GX・SX推進アドバイザー
11月29日（土4限）	人間社会・地球環境を良くする製品・サービスについて知ろう	中松正樹 先生	日本経済新聞社を経て、現在はフリーランスのニュースウオッチャー

03 参考資料：2025年度BFL副専攻授業科目一覧

	授業科目	教員	開講学期	
			春	秋
共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論	浅岡・石井	◎	◎
	ビジネス・コミュニケーション・スキル	河田	◎	◎
	アントレプレナーシップ（起業家精神）概論	川口	◎	
	ＢＦＬ近未来価値創造ゼミⅠ・Ⅱ	石井・浅岡	◎	◎
	ビジネス・フィールド・リンケージ自由研究ゼミⅠ・Ⅱ	橋本	◎	◎
価値増幅型マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー	井上	◎	
	法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント	山岡・雨間・橋本		◎
	就活にも役立つメディアリテラシー	石井	◎	
	戦略的ビジネスマネジメント	浅岡	◎	
	AI時代を生き抜くためのメディアリテラシー論	森田	◎	◎
グローバル人材育成副専攻	世界のニュースを読み解く～国際社会問題を知る～	中松		◎
	グローバルコミュニケーション	中里	◎	
	Practical English Communication Ⅰ	ヴィンセント		◎
	Practical English Communication Ⅱ	ヴィンセント		◎
	Practical English Communication Ⅲ	ヴィンセント		◎
ビジネス再生・創生副専攻	新時代のリーダーシップデザイン	橋本		◎
	戦略的ビジネスプランニング	橋本・井上・荒木	◎	
	顧客価値を創出するマーケティング	浅岡		◎
	SDGｓを実践するＧＸ＆ＳＸの基本	浅岡		◎
	ＷＥＢテクノロジーの基礎と応用	川口		◎
ビジネス・データサイエンス副専攻	文系人材のためのＤＸ・ＡＩリテラシー	石井		◎
	ビジネス・データサイエンスⅠ	野口	◎	
	ビジネス・データサイエンスⅡ～1	菅原		◎
	ビジネス・データサイエンスⅡ～2	熊谷	◎	
	ビジネス・データサイエンスⅢ	熊谷	◎	
社会活性化・価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論	井上		◎
	行政の役割を体験するインターンシップ	橋本	◎	◎
	行政の理解と試験対策	中村		◎
	起業（事業創造）に向けた実践論	荒木		◎

「BFLゼミ通信」創刊号
発行日：2025年07月18日
発行元：「BFL近未来創造ゼミ」
発行人：石井 清人
編集担当：「BFL近未来創造ゼミ」BFL通信制作チーム、石井清人、浅岡伴夫
原稿執筆：遠藤陽菜、藤井永奈、中山由姫乃
デザイン・レイアウト：キャリア支援課